

高性能6価クロム還元剤

オーデクロム

Eau de Chromie

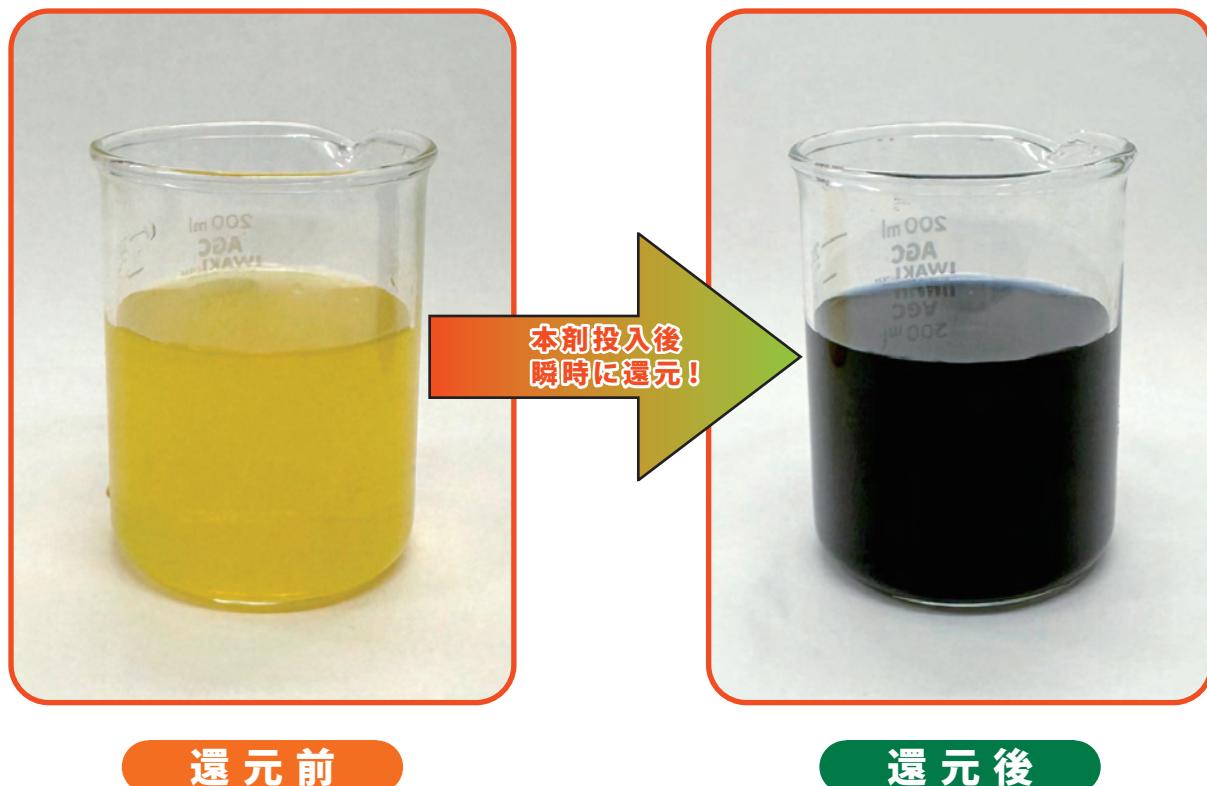
「もっと安全に」「もっと地球に優しく」

メッキ工場などで6価クロムを排出する場合
理由の如何を問わず無毒化の処理を行う必要があります。

オーデクロムは 6価クロムの無害化に優れた性能を発揮します。

東洋インキ株式会社が開発した高性能クロム廃水処理用薬剤『オーデクロム』は、クロムメッキおよびクロメート処理後の還元剤として環境や作業性に配慮しています。

亜ニチオン酸ナトリウムを使用する際に発生する臭いや水素ガスを緩和し、取り扱い時の安全性に優れています。



クロム酸(pH3以下)1kgに対し、オーデクロム3.0kgを目安に、pHが上がるに従い使用量を増加します。

pH7でクロム酸1kgに対し、オーデクロム6.0kgの投入で、充分に効果を発揮します。

入目 20kg/缶



取扱上の注意

(1) 使用前に水と反応させないでください

本剤を使用前に水と反応させると水素が発生し、効果が半減して十分な還元作用を得ることができなくなります。

また、容器の破損等により本剤が水に接触・反応すると、水素ガスが発生します。

特に密閉された室内等での保管にはご注意ください。

(2) 使用量を守ってください

本剤は強い還元作用があるため、多量に使用し放流すると水中の溶存酸素濃度を低下させます。

※COD、BODが上昇する事がありますので、酸化還元電位計(ORP計)を用い、廃水中に過剰の『オーデクロム』が流出しないよう管理することを推奨します。

(3) 火気に近づけないでください

『オーデクロム』の主剤は硫化物です。引火性・発火性はありませんが、火災時には亜硫酸ガスが発生することがあります。そのため、火気に近い場所での保管はしないでください。

(4) 開封・使用時の取り扱いには特に注意してください

『オーデクロム』の反応により、人体に影響を及ぼすガス等が発生する可能性があります。

開封、使用の際にはマスクを着用してください。

オーデクロム使用方法

①6価クロム廃水を貯槽から還元槽へ移し、硫酸等で6価クロム処理に最適なpH 2~3に調整します。

(処理時間、薬剤量の効率化)

※pHが上がるにしたがい、添加量は増加します。(pH7で1:6)

②pH3以下に調整した廃水を攪拌しながら、オーデクロムを添加します。

クロム酸1kgに対し3kgが目安となります。

攪拌溶解された廃水は、黄色から緑色へと変化し3価クロムへと還元されます。

※酸化還元電位計(ORP計)を使用すると還元終了の判断が明確となります。

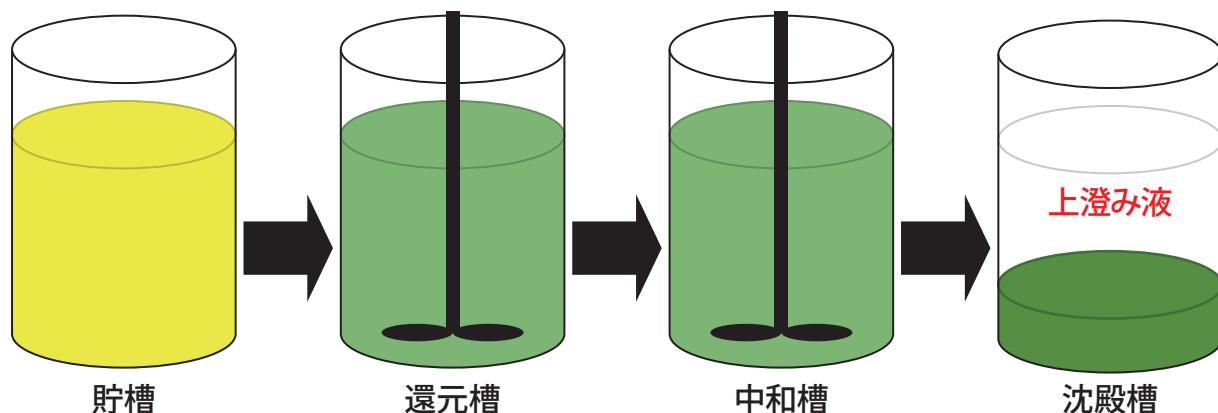
(250mv以下になるまでオーデクロムを添加し、3価クロムへ還元します)

③還元終了後中和槽へ移し、苛性ソーダ等で廃水のpHを7~8へ調整します。

④中和槽から沈殿槽へ移し、中和を行うと3価クロムは不溶性の水酸化クロムに変化して浮遊した後に沈殿します。

⑤沈殿終了後に上澄み液を排水します。

⑥沈殿物は、脱水処理を行うなどして廃棄物として処理します。



製造販売：株式会社 戸谷染料商店
〒111-0032
東京都台東区浅草5-69-9
TEL : 03-3873-3111(平日10:00~17:00)
E-mail : chemical@toyas.co.jp

詳しい情報は Web をご覧ください。

<https://toyas.co.jp>

戸谷染料商店 オーデクロム

検索

